

1. 業績 (学会・研修会発表)

	演題名	発表者 共同研究者	発表会名称	開催日	開催地
医師	パーキンソン病患者における音刺激による歩行改善の生理学的メカニズムの解明	西田 大輔	ISPRM2018 第12回国際リハビリテーション医学会議	2018.7.9	フランス パリ
	当院における実績指数算出時の除外条件の検討	三浦 治己 宇内景・宮崎裕大・新城吾朗・ 水野勝広・江端広樹・ 里宇明元 (慶應義塾大学医学部)	第2回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会	2018.11.2	宮城県
	DPP4阻害剤のベストチョイスを検討する	大江健二	Diabetes Conference inYokohama	2019/3/29	横浜

	演題名	発表者 共同研究者	発表会名称	開催日	開催地
理学療法士	加齢が持ち上げ動作時の姿勢と腰部負担に与える影響	林 翔太 勝平純司 (新潟医療福祉大学) , 勝野渉 (小田原循環器病院) , 松平浩 (東京大学附属病院)	第6回 日本運動器理学療法学会 学術大会	2018.12.15 -12.16	福岡県

	演題名	発表者 共同研究者	発表会名称	開催日	開催地
作業療法士	健康状態アウトカムの推移モデルの分析 ～患者状態の異質性に着目した潜在構造モデルの構築と活用～	古田 裕亮	ヘルステータナリティクスマネジメント 研究会	2018.4.14	東京
	Risk of occupational dysfunction as a function of domestic role for families of stroke patients	田原 正俊 Arata Kawakami, Kayoko Takahashi (Kitasato University), Michinari Fukuda ((Kitasato University)	WFOT congress 2018	2018.5.21 -5.25	南アフリカ (ケープタウン)
	高齢入院患者における健康状態アウトカムの推移モデル ～病院電子カルテデータ2次利用によるRepeated Measures Latent Class Analysisの応用～	古田 裕亮	第12回 ITヘルスケア学術大会	2018.6.2 -6.3	神奈川県
	高頻度に転倒を繰り返す転倒恐怖の低い認知症を伴うパーキン ソン病事例に対するノートを用いた作業療法介入	井上 那築 川上新、宇内景	第52回日本作業療法学会	2018.6.7 -6.9	愛知県
	A case study of resuming abaille translation through intervention with occupational based practice (作業を基盤とした介入を通して生きがいである点訳活動の再獲得 を目指した事例)	藤田 真那 Masatoshi Tahara, Goro Shinjo, Arata Kawakami.	the 5th Congress of Clinical occupational Therapy	2018.7.20 -7.21	福岡県
	Case of the iclusion Body Myositis that led to the itorduction of the self-help tools by shred volition 意思の共有により自助具の導入に至った封入体筋炎事例	井上 那築	the 5th Congress of Clinical occupational Therapy	2018.7.20 -7.21	福岡県
	The interrelationship between domestic roles of stroke patients before onset and families' QOL	田原 正俊 Arata Kawakami, Kayoko Takahashi (Kitasato University), Michinari Fukuda ((Kitasato University)	the 5th Congress of Clinical occupational Therapy	2018.7.21- 7.22	福岡県
	Reacquaring the role as a father through the experiences helping his daughter: acase study (娘を介助する経験を通して父親としての役割を再獲得した事例)	正木 克英 Masatoshi Tahara, Arata Kawakami.	the 5th Congress of Clinical occupational Therapy	2018.7.21- 7.22	福岡県
	脳血管障害患者及び家族のQOLと作業機能障害の経過 ～回復期リハビリテーション病棟入院中と退院後生活での縦断的 調査～	田原 正俊 川上新、高橋香代子 (北里大学) 、 福田倫也 (北里大学)	第52回日本作業療法学会	2018.9.7 -9.9	愛知県
	高齢者肺炎のクリニカルパス構築に向けた入院経過の計量的可 視化	古田 裕亮	第19回 日本クリニカルパス学会 学術集会	2018.10.12 -10.13	北海道
	手指機能訓練支援ロボットAMADEOを使用した1症例	田原 正俊 西田大輔,水野勝広,江端広樹	第2回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会	2018.11.2 -11.4	宮城県
	手指機能訓練用ロボットamadeoを使った手指機能への経験例	前川 稔	第3回済生会リハビリテーション研究会	2019.1.19	神奈川県
	脳血管障害患者の家族を対象とした在宅での生活の質および生 活の満足度に関する調査	田原 正俊	第3回済生会リハビリテーション研究会	2019.1.19	神奈川県
	重度上肢運動麻痺に対する視覚誘導性自己運動錯覚と反復 促進運動を併用した1症例	田原 正俊 新城吾朗、川上新	回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会	2019.2.21 -2.22	千葉県

	演題名	発表者 共同研究者	発表会名称	開催日	開催地
作業療法士	シングルケースデザインによる回復期脳血管障害患者に対するDIEGO(Tyromotion)のバランス訓練効果の検討	井上 那築 川上新、新城吾朗	回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会	2019.2.21 -2.22	千葉県
	手指機能訓練支援ロボットAMADEOでの訓練後、巧緻な日常生活動作を獲得した症例	鈴木 友里絵 田原正俊、川上新、宇内景	回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会	2019.2.21 -2.22	千葉県
	非方向性注意障害を伴う半側空間無視患者に対しプリズム適応療法を行った一症例	新藤 志織 田原正俊、川上新、水野勝広	回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会 in 舞浜・千葉	2019.2.22	千葉県
	重度上肢運動麻痺と左半側空間無視を認めた慢性期の頭部外傷症例に対する、IVESを併用した上肢機能訓練の介入経過	田原 正俊	第71回済生会学会	2019.2.23 -2.24	富山県
	眼球運動障害、複視に対して迷路性眼球反射促進法と両眼注視訓練が効果を示した脳幹出血の1例	川上 新 宇内景	第71回済生会学会	2019.2.23 -2.24	富山県
	上肢機能訓練支援ロボットDIEGOと麻痺手の使用日誌の併用で生活上での麻痺手の使用に至った症例	菊池 秀斗 井上那築、田原正俊、川上新、 宮崎裕太	第71回済生会学会	2019.2.23 -2.24	富山県
	運動失調に対して複合的装着療法を実施した事例	渡邊 侑紀	第84回神奈川リハビリテーション研究会	2018.4.21	神奈川県

	演題名	発表者 共同研究者	発表会名称	開催日	開催地
管理栄養士	当院の取り組み	成毛 美幸	第4回関東済生会 栄養士・管理栄養士研修会	2018.7.14	神奈川県
	呼吸状態悪化により入院中に食形態が完結しなかった患者に在宅訪問栄養指導につなげた1症例	野上 紗希	第22回日本病態栄養学会	2019.1.12	神奈川県
	呼吸状態悪化により入院中に食形態が完結しなかった患者に在宅訪問栄養指導につなげた1症例	野上 紗希	第3回済生会リハビリテーション研究会	2019.1.19	神奈川県

	演題名	発表者 共同研究者	発表会名称	開催日	開催地
看護師	在宅復帰を対象とした患者の内服管理評価 ～FIMを用いたフローチャートの作成～	寺延 亜矢 蒔苗麻子、花野翔平、鈴木裕子	第3回済生会リハビリテーション研究会	2019.1.19	神奈川県

	演題名	発表者 共同研究者	発表会名称	開催日	開催地
介護福祉士	介護福祉士の役割とは ～足浴の取り組み～	根本 愛美	第71回済生会学会	2019.2.23 -2.24	富山県